



今金農業を支える担い手たち！

11/17

「農業後継者激励会」開催

※出席者・中央左 岸徹也さん、中央右 佐藤瑛治さん

第27回

J A 北海道大会

11月21日に札幌市コンベンションセンターで第27回 J A 北海道大会が開催されました。大会には、組合員や J A、連合会役員ら約2,000人が参加しました。

「協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会」を大会のメインテーマに掲げ、「持続可能な北海道農業の実現」「次代を担う協同の実践」の大会議案が決議されました。また、「環太平洋連携協定(TPP) 交渉参加断固阻止に関する特別決議」も満場一致で採択されました。

大会前には、資源・食料問題研究所の柴田明夫

代表による記念講演が「世界の食糧需給の動向と北海道農業の課題について」と題して行われました。

当 J A では、小田島組合長をはじめ14名の役員が役員道内視察研修の最終日に参加しました。



道南青協

福島県視察研修

11月6日、道南地区農

協青年部協議会福島視察研修が行われ、J A 今金町から青年部副部長の伊藤司さんが参加されました。

今回の視察では東日本大震災による被害や影響等を現地で確認し、報道では分からない「実際」を知ること、また震災被害と同様に大きな問題となっている原子力発電問題について、原発事故により現地ではどのような被害や影響が及ぼされているのか、そして道南地区青年部協議会としてこれからどのような活動をしていくべきかを考えるべく行われました。

11月6日、道南地区農

協青年部協議会福島視察

研修が行われ、J A 今金町

から青年部副部長の伊藤

司さんが参加されました。

今回の視察では東日本

大震災による被害や影響

等を現地で確認し、報道

では分からない「実際」

を知ること、また震災被

害と同様に大きな問題と

なっている原子力発電問

題について、原発事故に

より現地ではどのような

被害や影響が及ぼされて

いるのか、そして道南地

区青年部協議会としてこ

れからどのような活動を

していくべきかを考える

べく行われました。

今回の視察先である福

島県相馬地区は、福島第一原子力発電所の20キロ圏内に位置し、水稻を中心とした営農が行われていたが震災の影響で現在も作付ができない状況となっており、一部の圃場には海水がたまっていたり、津波によって運ばれたガレキ等が残っていたりと依然困難な状況になっておりました。

また、道南地区青年部協議会として福島復興のために何か手伝いはできないかと部員の方から声が上がりました。今後は視察の他、復興支援や交流事業なども展開できるように、継続して協議していく予定です。



●「水稲直播栽培技術講習会」開催

11月27日、JA今金町2階大会議室にて水稲直播栽培技術講習会が開催され、水稲耕作者約20名が参加しました。講習会では、今年度より乾田直播栽培を開始した田代地区の仁木明さんによる乾田直播実績報告、水稲直播研究会副会長石川大輔さんからは湛水直播実績報告が行われ、今金町での直播栽培の実績が発表されました。結果としては、乾田直播は蛋白値7.9%、収量が10a当たり9俵、湛水直播では平均蛋白値7.1%、収量平均10a当たり7俵という好成績を収めることができ、来年度への期待がふくらむ内容となっていました。その後は普及センター佐々木主査による「直播栽培の導入に係わる手法及び導入事例」をテーマとした講習、北斗市で乾田直播栽培を行っている長尾典彰さんによる乾田直播に対する思いや苦労といったお話を頂き、講習会終了後には農機メーカーであるスガノ農機主催による情報交換会も開催され、直播栽培に係わる様々な意見が交わされました。



●「道南地区青年部協議会冬季部員研修会」開催



11月20日、北斗市農業振興センターで道南地区青年部協議会冬期部員研修会が開催され、各地区より約60名の青年部員が参加し、研修を行いました。

今金町からは青年部員6名が参加し、研修会では5~6名の小さなグループに分かれ、テーマに沿って協議するグループディスカッションが行われ、多くの意見が交わされました。意見交換された内容は各グループ毎に発表され、参加者の皆さんが考える課題、またその課題についての解決策が発表されました。

研修会終了後にはスポーツ交歓会が、夜には懇親会が開催され、道南地区青年部員同士交流を深めながら、会場は大いに盛り上がりました。

●今金農業を支える担い手たち！「農業後継者就農激励会」

11月17日、平成24年度農業後継者の激励会がJA今金町で開催されました。

平成24年度の農業後継者は、岡林拓馬さん（経営者・国光さん）、岸徹也さん（経営者・本人）、佐藤瑛治さん（経営者・豊さん）、田中秀樹さん（経営者・春次さん）、日置勇馬さん（経営者・紳一さん）、山崎拓也さん（経営者・隆宏さん）の6名。

当日は岸徹也さんと佐藤瑛治さん、JA役職員、JA青年部の役員が出席され、これらの今金町農業を支える担い手たちに激励の言葉をかけ、懇親を深められました。



●今金町を食と観光で元気にしよう！

「今金町観光まちづくり推進フォーラム2012」開催

11月17日、今金町民センターで『今金町観光まちづくり推進フォーラム2012』が開催されました。今回のフォーラムは「今金町を食と観光で元気にしよう！」をテーマに、食・観光日本一を目指す別海町から別海ジャンボホタテバーガー地域活性化協議会 事務局長 松本博史氏による基調講演をいただき、地域をこよなく愛し、地域のために汗を流す「地域バカ」の必要性や「新・ご当地グルメグランプリ北海道」3連覇達成にあたっての苦労話などのお話を聞かせて頂きました。

また、ヒロ中田氏より「今金男爵」「ポテサラ」を核にした食による観光まちづくり、「今金町を食と観光で元気にしていくための10の提案」がなされパネルディスカッションもおこなわれました。提案の中には「新・ご当地グルメグランプリ北海道大会を今金町に誘致する」、「ポテサラ世界一のまち今金を宣言する」などの提案がなされました。「今金男爵ポテサラごはん」来年、3月16日のデビューが楽しみです。



●JAバンクは食育を応援します！

JAバンク教育活動助成事業



11月16日、JA今金女性部・青年部の皆さんが、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、地場食材がふんだんに入った「今金食材の具たくさんみそ汁」と「おにぎり」、「じゃがいもの塩煮」という素材の味を生かした給食を提供させていただき、生産者が児童・生徒たちと一緒に食しました。

今年で5年目を迎えた「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」と題されたこの取り組み。児童や・教

職員に生産者の作物に対する思い、育てる苦労を知っていただき「ふるさとの恵み」に感謝する心を育むきっかけになれば、という目的で行われています。食材などの必要な物の購入には「JAバンク教育活動助成事業（食育推進事業）」が利用され、児童生徒たちの食育の為に活用されています。

●JICA農業研修会が今金町で行われました

独立行政法人国際協力機構（JICA）による「地域開発計画管理」コースの現地研修会が川上等農場・ぴりかファームで行われ、それぞれの農業経営の紹介や意見交換が行われました。この研修は北海道開発局が主体となり、世界各国の開発途上国において地域開発に携わっている行政官を対象に、国が策定する総合的な開発計画に基づいて総合的・効率的に地域開発を推進・管理する手法・ノウハウ等の習得を目的として平成4年より実施しており、今年度はガーナ、フィリピン、シエラレオネ、イラク、コンボ、タンザニア、スーダンから11名が参加されました。



普及センターからの技術対策（畜産編）①



10月、長崎県において全国和牛能力共進会が開催されました。苦難を乗り越えた宮崎と鹿児島、大分・長崎など九州勢の圧勝の中大会が終わりました。

今大会の審査項目の見直しでは、牛の体型などから子牛を生産する能力「種牛性」が重視され、また子牛を育てる能力の哺育性「乳徴」も加わりました。

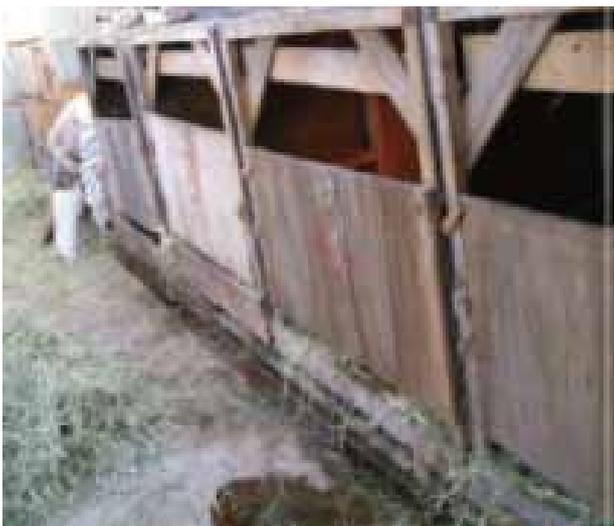
経営に直結するこうした改良を進めながら、飼養管理を改善しましょう。

冬期間の子牛飼養環境

成牛は、寒さに強く冬期においても換気が大切です。しかし、哺乳牛は寒さに弱く適正な生育には13℃～25℃(育成牛で4℃～20℃)の温度を確保する必要があります。特に、居住空間となる**床上50cm以下の環境に注目し、温度・換気・すきま風に注意しましょう。**

冬期は保温対策を進めましょう。

- 事例
- ①敷料を増量し保温効果を高める
 - ②敷料の交換回数を増やし、乾いた環境を増やす
 - ③すのこ、高床にするなど牛床の乾燥に努める
 - ④赤外線ヒーターなど暖房器具の使用



高床のカーフハッチ



赤外線ヒーター

ストレス

育成牛は、ストレスを受けると免疫力が下がり、疾病に罹りやすくなります。

また成長ホルモンの分泌が低下し増体が悪くなります。

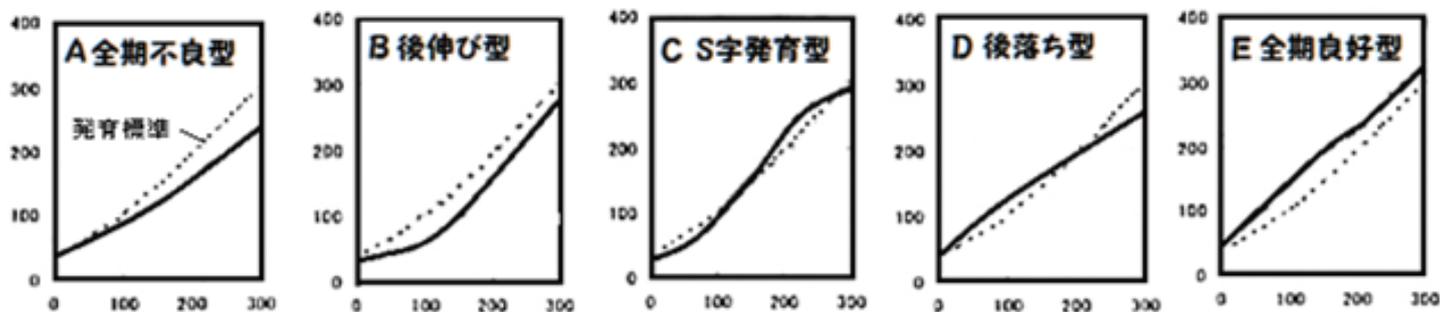
牛の都合に合わせた、栄養給与と環境づくりを進めましょう。



普及センターからの技術対策（畜産編）②

発育を測定しましょう

育成牛の発育パターン(体重)



育成牛の増体は、大きく5つに分けられます。初期生育が悪いA～Cのパターン。Cは離乳後に増体が改善されるパターン。Dは、第一胃の発達が十分でなく食い止まりがおきた場合等に見られます。

また、同じ管理をしても、冬期に増体が悪くなる、春先に呼吸器病が多いなど**農場における特徴を見つけること**が改善の第一歩です。



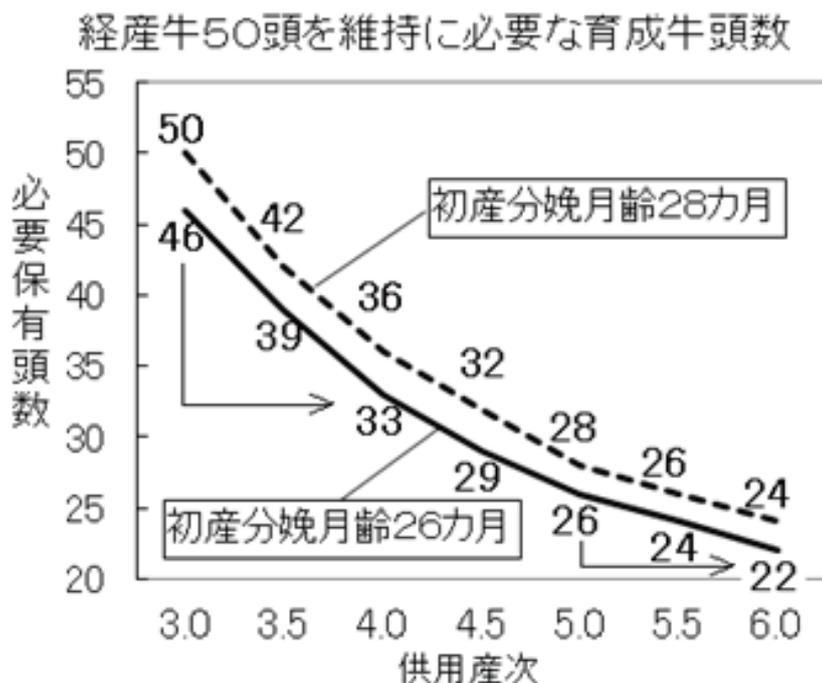
育成牛の保有頭数

牛の償却費は、組勘では見えない経営を左右する大きな費用です。

繁殖牛の更新（供用産次）が早まれば、生乳や素牛等の生産物当たりの牛の償却費コストが高まります。つまり、育成費や牛の購入費が増加します。

右図は、50頭の繁殖牛維持のために必要な育成牛頭数を示しています。供用年数が短いほど改善すると効果が大きいことがわかります。

繁殖牛の供用産次を高め、不要な育成牛を持たない効率的な経営をめざしましょう。



NEXT GENERATION

新世紀の担い手たち

種川地区 渡辺 寛進さん〔27歳〕



今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第12回目は種川地区の渡辺寛進さんをご紹介します。

渡辺さんは高校卒業後すぐに就農し、今年で8年目になります。現在は家族とともに水稲・早出馬鈴薯・人参・小豆・そばを作付しています。

また就農2年目には青年部に加入され、青年部活動や地域イベントにも積極的に参加し、盛り上げるべく精力的に活動しています。

今後ますますのご活躍をご祈念いたします。

《プロフィール》

渡辺 寛進（わたなべ ひろゆき）

北海道檜山北高等学校卒（就農8年目）

《経営作物》 水稲、早出馬鈴薯、人参、小豆、そば

《家族構成》 渡辺 教勝（父）、栄美子（母）、

副一郎（祖父）、イソ（祖母）

《農業していて感じること》

農業を始めて8年になりますが、家族みんなが協力し、絆を深めながら力を合わせて経営を行っていく農業にやりがいと魅力を感じています。

反面、栽培期間や収穫時期など作物によってその作業条件や時期など大きく違ってきますが、いかにして作物を組み合わせて複合的な栽培を行っていくか、という部分には難しさを実感しています。

これからも農業を続けていく中で、今考えている難しさや課題を解決していけるよう、家族一丸で協力しながら頑張りたいです。

《今後の夢》

将来的に経営規模の拡大なども視野に入れながら、今以上に作業内容に見合った機械や施設等を揃えていきたいです。そして、ゆくゆくは経営の中心となり、農業を営んでいければと考えています。

理事会報告

第8回理事会（平成24年7月31日）

〔報告事項〕

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 内部審査結果報告について
4. 国営緊急農地再編整備事業今金南地区換地準備委員会設置に伴う委員について
5. 種子馬鈴薯第一期～第三期防疫検査の結果について
6. 農畜産物の販売状況及び生育状況について
7. お盆期間中の業務について
8. コンプライアンス講習会の実施報告について
9. 今金町畜産共進会の結果報告について

〔議決事項〕

- 議案第1号 平成24年度農産物の栽培管理等及び農産物の取扱について
- 議案第2号 経理規定の一部変更について

第9回理事会（平成24年8月24日）

〔報告事項〕

1. 第二委員会の報告について
2. 内部審査結果報告について
3. 第2四半期監査の実施について
4. 組合員の加入、脱退の状況について
5. 第2四半期部門別実績対比について
6. 農畜産物の販売状況及び生育状況について
7. 土地取得（日通跡地）について
8. 燃料、寒冷地手当の支給について
9. 道南畜産共進会結果について
10. 今金秋まつり期間中の業務について

〔議決事項〕

- 議案第1号 てん菜立会人の選任について
- 議案第2号 平成24年産米のJA独自共計について
- 議案第3号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第4号 生乳集配業者の変更（ホクレントラック事業所）について

第10回理事会（平成24年9月13日）

〔報告事項〕

1. 農業委員会総会報告について
2. JA共済コンプライアンス点検結果について
3. 食用馬鈴薯・種子馬鈴薯収量調査結果について
4. 農畜産物の販売状況及び生育状況について
5. 第29回北海道肉牛畜産共進会結果について

〔議決事項〕

- 議案第1号 第2四半期監査に対する回答（案）について
- 議案第2号 JA全国監査機構監査に対する回答（案）について
- 議案第3号 平成24年産米概算払いについて
- 議案第4号 平成24年度賦課金の減免について

第11回理事会（平成24年10月19日）

〔報告事項〕

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 農畜産物販売状況及び生育状況について
4. 役員道内研修の実施について
5. 道南・後志・日胆・石狩地区合同JA役員研修会の実施について
6. 道南・後志・日胆・石狩地区JA監事協議会道内視察研修の実施について
7. 就業時間の変更について

〔議決事項〕

- 議案第1号 資産査定要領の改正について
- 議案第2号 旅費・実費弁償規定の改正について
- 議案第3号 各就業規則の改正について
- 議案第4号 信用限度を超える貸付金の承認について
- 議案第5号 5千万円超の信用供与等の承認について
- 議案第6号 農業経営基盤強化準備金申請に係る事務手数料の設定について
- 議案第7号 職員海外研修視察に伴う旅費（日当）支給について

第12回理事会（平成24年11月17日）

〔報告事項〕

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 甜菜受入立会報告について
4. 第3四半期監査の実施について
5. 組合員の加入・脱退状況について
6. 第3四半期部門別実績対比について
7. 農畜産物の販売状況について
8. 平成25年度営農計画書の農畜産物基準価格の設定について

〔議決事項〕

- 議案第1号 平成25年度営農指導方針（案）について
- 議案第2号 組合員規程の改正について
- 議案第3号 反社会的勢力との取引排除規程の改正について